

2024 年度 ニチキッズえべつ駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月15日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念の「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」とは乳幼児にとって具体的にどのような事なのかを見直し日々の実践に活かしてきた。今後も更に学びを深め実践していきたい。
子どもの発達援助	各年齢の発達を学び、個々の成長を考えながら身体をおもいっきり動かして遊べるよう園外での遊ぶ場所や、室内での環境を整えることで子どもたちの歩く力や体を動かして遊ぶ意欲を引き出す事ができた。
保護者に対する支援	給食試食会、クリスマス会等の行事の中で親子で遊べるリズム運動を伝えると共に、懇談会や送迎時には各家庭の状況を把握しながら子育てに関する支援を行ってきた。
保育を支える組織的基盤	毎日の15分ミーティングや毎月の職員会議の中で、子どもの捉え方を一致させながら、各クラス任せではなく全職員で保育内容を検討し実践してきた。

総評
4 月より施設長が変わり、保育内容や職員間の在り方を見直す1年であった。それぞれの職員が今までの保育内容を「何のためなのか」と言う事をしっかりと振り返りながら、新しい事へも挑戦した一年だった。保育理念である「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」という事も具体的に検討し実践することが出来た。そのことにより、子ども達の変化や発達を全職員が実感し保育に対する意欲を持つことができた。来年度は更に学びを深め保育内容を見直しながら、子どもの発達にあった保育が出来る職員集団へ成長していきたい。